

『フェッセンデンの宇宙』

E・ハミルトン著、中村融編訳／河出文庫

『The Best of Edmond Hamilton』

Edmond Hamilton and Leigh Brackett Hamilton (editor)／Phoenix Pick

研究室の学生の井上瑛恵さんに紹介されて、読んでみました。私は知らなかったのですが、どうやらSFの古典で有名らしく、最近流行？の科学者倫理的にも興味深い作品でもあるとのこと（井上さん談）。ネットでは「名作中の名作」とか、本書のあとがきでも「いわずと知れた名作」との評判です。本書は作者エドモンド・ハミルトンの短編集となっており、『フェッセンデンの宇宙』の「初出ヴァージョン（1937年）」と「改稿ヴァージョン（1950年）」それぞれの翻訳が、最初と最後に載っています。個人的には、改稿ヴァージョンの翻訳が読みやすいと思うので、おすすめです。また、あとがきにも書かれていますが、改稿ヴァージョンのほうが「科学者の倫理」というテーマが見え易い気もします。いずれにしろ、短編ですので両方を読んでも時間はかかりませんから、読み比べても良いでしょう。

さて、ストーリーについてです。科学者フェッセンデンが、なんと実験室で小さな宇宙を創ることに成功します。彼の友人で本編の語り手ブラッドリーは、驚嘆しながらも「フェッセンデンの宇宙」に魅入られます。しかし、科学者というよりも創造主のように振る舞うフェッセンデンに対して違和感を、そして彼の行動に強い怒りを感じ……。オチは少し捻ってありますが、現在では良くある感じなので正直「ふーん、なるほど」という程度です。

しかし、いろいろと考えるポイントがあり、最近流行？の科学者倫理も本作の大きなテーマになっています。本書では、「フェッセンデン＝マッドサイエンティスト」vs.「わたし（ブラッドリー）＝常識人」という役柄が、極端に書かれているので分かりやすいですが、現実はもっと曖昧でしょう。ふと考えてみると、「自分もフェッセンデンと同じことをしているのでは？」とってしまいます。

嘘をつくというのはそもそも論外ですので、巷で騒がれているような研究倫理とは趣が違いますが、もっと曖昧な境界を持つ科学者倫理の教科書として使えそ

うな小説です。少しネタバレになってしまいますが、私はフェッセンデンよりも、故意ではないとはいえ、結果的には放火・殺人に関与しておきながら真相を隠し、まったく反省の色が感じられない主人公？のブラッドリーも、よほど倫理的にどうかと思うのですが・・・。

ひょっとして翻訳で脚色しているのかもと思い、英文の原著も購入して確認してみました。ちなみに、原題は「Fessenden's Worlds」で、宇宙=the universe, the cosmosではなくworlds、しかも複数形になっているのがポイントですね（本編を読めば分かります）。やはり原著でも「わたし（ブラッドリー）」のちょっといかなものかと思われる行動はそのままでしたので、作者エドモンド・ハミルトンが意図的にそのように書いている気がします。そうすると、どちらが一体まともなのか？、誰もまともではない？、そもそもまともとは？と、本当のオチはなんだろうと考え出してしまいます。

そういえば、本作の語り手ブラッドリーがgrandiose metaphor（直訳すると、非現実的で大げさな例え話？）と言っていた「実験室の中に宇宙を創る」は、当プラズマ物理学研究室でも研究テーマの一つとして取り組んでいます。しかし、まだまだ「フェッセンデンの宇宙」には遠く及ばないので、がんばろうと我に返りました。フェッセンデンの実験装置がとても欲しいのですが、本編の最後には壊れてしまいます。「ああ、せっかくの装置が壊れちゃって、もったいない」と思うのですが、「きみの科学的好奇心なんかそ食らえだ（原文ママ）」とブラッドリーに怒られてしまいそうです。

初出から半世紀どころか70～80年も経っているのに、科学者倫理的な問題は未だ解決されず、現在の社会現象とマッチングします。古典ですから、内容に少し古いイメージがあるのは否めませんが、昔から変わらぬ問題を提起してくれます。短編ですので読み終わるのにはあまり時間がかかりません。しかし、むしろ読み終わった後、あれこれ考えるのに時間がかかる小説です。

執筆者紹介

菊池 崇志

原子力システム安全工学専攻准教授。専門領域は、核融合、粒子ビーム物理学、プラズマ科学。

【書名】 著者名 翻訳者名 出版社または文庫・シリーズ名 出版年 税込価格

『フェッセンデンの宇宙』 E. Hamilton著 中村融編訳 河出書房新社（河出文庫）
2012年 1,026円

『The best of Edmond Hamilton』 E. Hamilton著, Leigh Brackett編 Phoenix
Pick 2010年 1,931円

[ブックガイド目次へ](#)